

第 1 章 訓練課題の構成と整備状況

第1章 訓練課題の構成と整備状況

第1節 訓練課題の構成

訓練受講者における一定水準以上の技能などの習得を保証するには、仕上がり像に対しての到達度合いを把握するための「総括的な評価」と訓練の途中段階において、システムの訓練到達目標に対しての到達度合いを把握するための「形式的な評価」も併せて必要となる。その把握時期は、各システムの終了時など指導上適切と判断される区切りにおいて、少なくとも1ヶ月に1回は実施することが必要とされている³⁾。そのため、訓練課題は、システム毎または、基本システムの訓練の過程における「形式的な評価」をおこなう評価課題と1つの仕上がり像毎の「総括的な評価」をおこなう総合課題を設定している。また、それら課題の設定参考例は、「離職者訓練における受講者の習得度測定の手引き」により図1-1の4パターン示されており、本調査研究においてもそれに基づき訓練課題の開発を実施している。

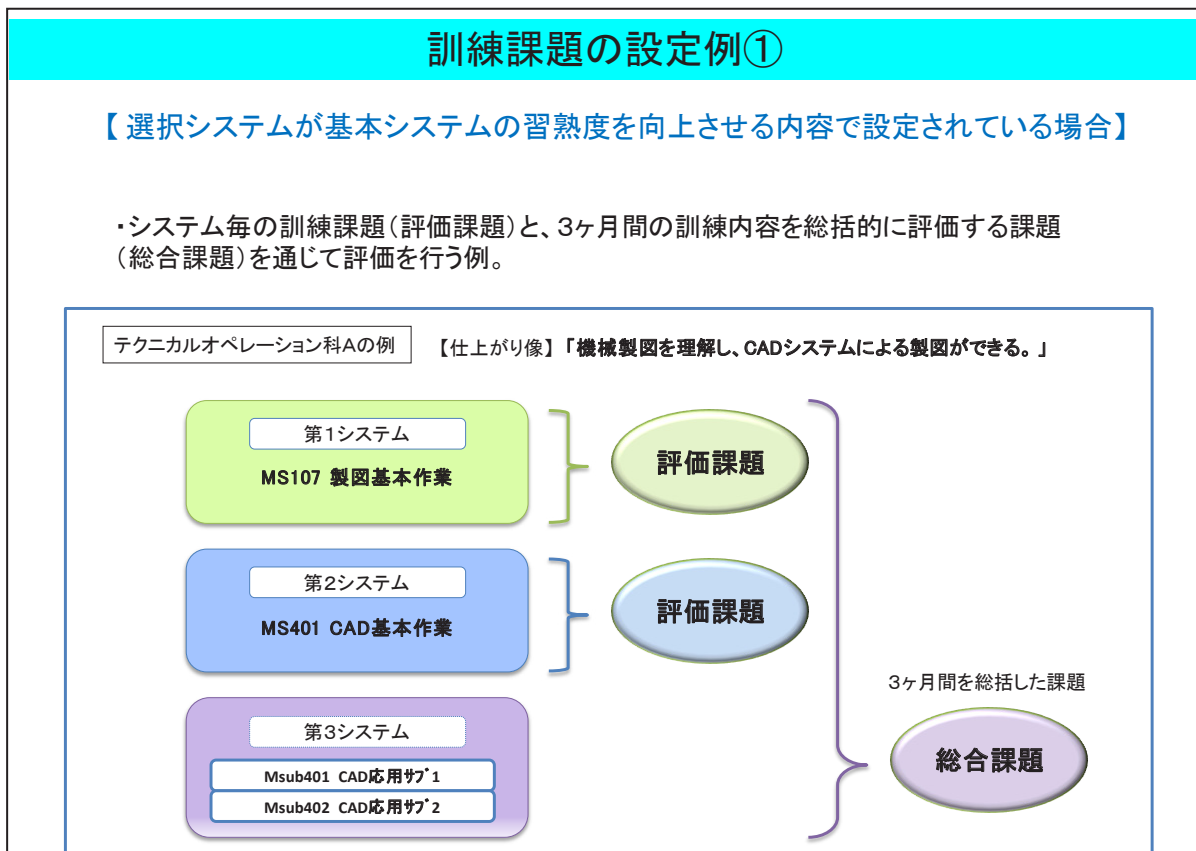


図1-1 (a) 訓練課題の設定参考例①

訓練課題の設定例②

【選択システムが基本システムに関連する知識・技能の幅を広げる内容で設定されている場合】

・第1システムの評価課題と、基本システムの評価課題及び第3システムの評価課題を通じて評価を行う例。

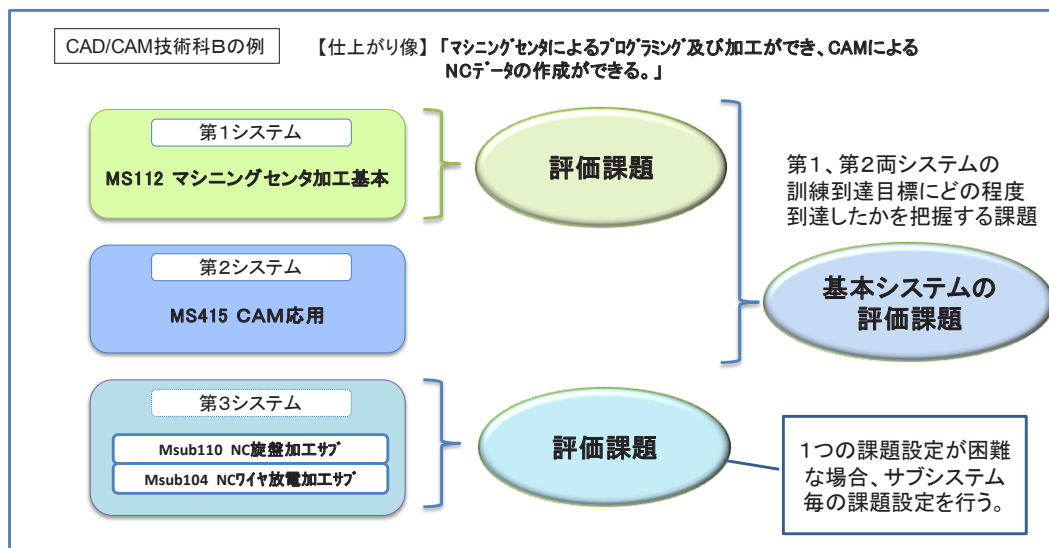


図 1 - 1 (b) 訓練課題の設定参考例②

訓練課題の設定例③

【1つの仕上がり像を構成している各システムが並列的に組み合わせられており、総合課題の設定が困難な場合】

・3つのシステムとも、各システム毎の訓練課題(評価課題)を通じて評価を行う例。

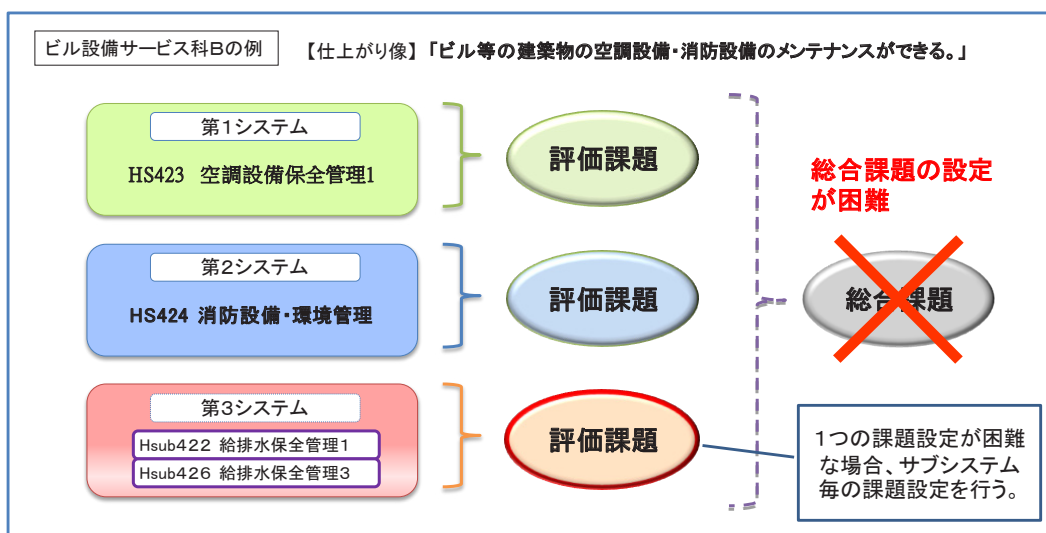


図 1 - 1 (c) 訓練課題の設定参考例③

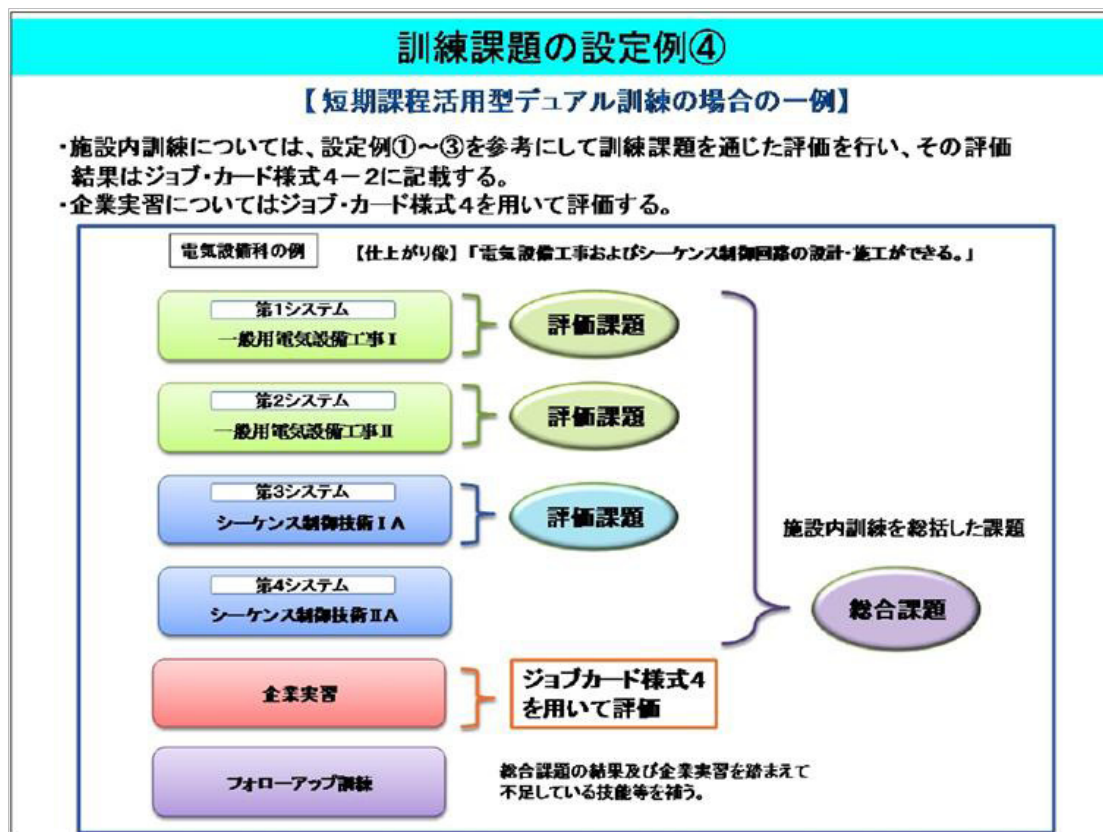


図 1 - 1 (d) 訓練課題の設定参考例④

訓練課題は、実技で評価する課題（以下、「実技課題」という。）を基本としているが、実習機材の台数や指導體制の都合により安全が十分に確保できないなどの場合においては、筆記による実技能力を問う課題（以下、「筆記課題」という。）を活用している。

表 1 - 1 に実技および筆記の課題構成を示す。実技課題は、受講者が履修した訓練科目における技能などの習得内容を総括し、受講者の最終目的である就職に直結した仕事の内容を想定して設定されている。構成としては、訓練課題だけではなく、訓練効果を客観的に評価するために「訓練課題実施要領」、「評価要領」や「訓練課題確認シート」など実施に係る留意事項や評価基準についての詳細資料も作成されている。さらに「作業工程計画書」では、技能などの習得状況を把握するだけではなく、課題に取り組む計画性、作業の手順や留意事項の把握状況、安全衛生に対する理解度などを評価できる資料も作成されている。筆記課題の構成は、「訓練課題」のほかに、特段の留意事項がある場合のみ「訓練課題実施要領」が作成されている。

表 1 - 1 実技および筆記の課題構成

番号	資料名	概要
実技課題		
1	訓練課題実施要領	実施に関する準備や留意事項
2	実技課題	習得度測定が可能な実技課題
3	解答	訓練課題の解答及び解説
4	作業工程計画書	作業の手順や留意事項や安全衛生に対する理解度の評価シート
5	訓練課題確認シート	訓練課題のねらいや評価判定
6	評価要領	評価判定基準の詳細
筆記課題		
1	訓練課題実施要領	実施に関する準備や留意事項
2	筆記課題	習得度測定が可能な筆記課題
3	解答	訓練課題の解答及び解説

第2節 整備状況

表1-2に平成25年度までの訓練課題の整備状況を示す。開発された訓練課題は、機械系、電気・電子系、居住系の3系あわせて122課題である。また、メンテナンスされた課題は、延べ数で170課題である。作業部会では、平成24年度に策定された計画に基づき、カリキュラムモデルが改編された居住系住宅分野4科（住宅施工技術科、住宅リフォーム技術科、住宅診断サービス科、住環境計画科）の訓練課題の整備を中心に進め、実技課題を1課題、筆記課題を2課題の開発をおこなった。この開発では、機構における訓練を実施している施設に施設独自訓練課題の提供の協力依頼をおこない、提供された資料を参考にした。さらに、電気・電子系においては、近年需要が望まれている太陽光パネル技術に関する筆記課題の整備を新たに実施した。これらの新規に開発された課題の詳細については、第3章「訓練課題一覧および新規課題の紹介」に示す。また、メンテナンスでは、同様の施設を対象に「訓練課題に関するアンケート調査」を実施し、訓練課題に対する修正や要望などを集約し、反映させて訓練課題の品質担保に努めている。訓練課題に対する修正や要望および訓練課題に関するアンケート調査の詳細については、第4章「作業部会等経過報告」に示す。

表1-2 訓練課題の整備状況

年度 系・種別		H19~H21 ※1		H22※2 (1年目)		H23 (2年目)		H24 (3年目)		H25 (4年目)		系別合計		備考
		開発	メンテ ナンス	開発	メンテ ナンス	開発	メンテ ナンス	開発	メンテ ナンス	開発	メンテ ナンス	開発	メンテ ナンス	
機械	実技	8	0	0	0	8	3	5	10	0	7	21	20	
	筆記	7	0	-1	0	8	2	2	9	0	11	16	22	※4
	計	15	0	-1	0	16	5	7	19	0	18	37	42	
電気・ 電子系	実技	9	0	2	9	6	3	7	9	0	11	24	32	
	筆記	8	0	1	7	11	2	7	11	1	15	28	35	
	計	17	0	3	16	17	5	14	20	1	26	52	67	
居住	実技	15	0	0	12	1	9	0	7	1	7	17	35	
	筆記	10	0	0	8	1	6	3	10	2	2	16	26	
	計	25	0	0	20	2	15	3	17	3	9	33	61	
その他※3 (情報・ 通信系)	実技	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	筆記	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	2	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
年度別合計	実技	32	0	2	21	15	15	12	26	1	25	62	87	
	筆記	25	0	0	15	20	10	12	30	3	28	60	83	
	計	57	0	2	36	35	25	24	56	4	53	122	170	※5

※1 離職者訓練における職業能力評価のあり方に関する調査研究（平成19年度から21年度まで）

※2 M-16およびM-17の課題を検討し、平成23年度に開発完了

※3 平成22年度からは開発及びメンテナンス中止（課題数カウント外）

※4 H22年度にM-07（筆記）課題を削除

※5 課題は課題番号毎に数えている（ex.E-11A,E-11Bは2課題と数える）

第3節 整備に関する基本的な考え方

表1-3に訓練課題整備に関する基本的な考え方を示す。この表は、訓練課題の整備状況を数値的に明確化するために考案した。1つの仕上がり像に対してシステム①、システム②、システム③の訓練課題がすべて整備されている場合とシステム①、システム②の訓練課題が整備されている場合を「整備済」としている。また、それ以外を「未整備」としている。さらに、今後より効率的な訓練課題の整備を実施するために、優先度を設定している。仕上がり像が実施されている施設数を5施設以上と5施設未満と分け、優先度を1から4段階で設定している。この考え方に基づくと、平成25年度における全系訓練科の仕上がり像に対する訓練課題の整備率は、約70%（平成24年度は60%）である。各系における整備率は、機械系が約71%、電気・電子系が約50%、居住系が約91%である。また、仕上がり像が実施されている施設数が5施設以上では、全系訓練科で約87%であり高い整備率となっている。各系における整備率は、機械系が約89%、電気・電子系が約85%、居住系が約91%である。

表1-3 訓練課題整備に関する基本的な考え方

訓練実施時期 訓練課題整備状況		システム①	システム②	システム③
		例) 第一システム評価課題	例) 第二システム評価課題 基本システム評価課題	例) 第三システム評価課題 総合課題
整備済	1つの仕上がり像に対し、システム①、システム②、システム③の課題がある	済	済	済
	1つの仕上がり像に対し、システム①、システム②の課題がある	済	済	優先度2
未整備	1つの仕上がり像に対し、システム①もしくはシステム②の課題だけ、または課題が無い（実施施設数5施設以上）	優先度1		優先度2
	1つの仕上がり像に対し、システム①もしくはシステム②の課題だけ、または課題が無い（実施施設数5施設未満）	優先度3		優先度4